

京都植物誌プロジェクト
－次の100年に向けた京都府立植物園機能向上ボランティアの公募について－
〔現地調査チーム〕 募集要項

京都府立植物園は令和6年1月1日に開園100周年を迎える、次の100年創生に向けた新たな取り組みを始めています。

京都府内の植生把握等を通じた植物多様性保全へ寄与するため、令和10（2028）年に『京都植物誌（仮称）』（以下、京都植物誌）の発刊を目指しています。発刊するには、府内に生育する全ての植物について現地調査を行い、腊葉（さくよう）標本を作製し、京都府立植物園標本庫に収める作業が必須となります。収藏された標本は、発刊予定である『京都植物誌』の根拠標本となり、永年保管され、次世代の研究に寄与します。

また、京都植物誌は10年単位で更新を行うこととしており、長期にわたる継続的な取り組みが必要です。今回、この重要な取り組みに協力いただけるボランティアを下記のとおり募集します。

記

1. 活動場所

京都府下全域 ※地域や植物に特化した活動も可

2. 活動内容

- ① 植物採集を行い、押し葉を作成する
- ② 採集した植物のデータ（位置情報、生育環境、採集者名、花・果実の色、生育株数など）をまとめる
- ③ 押し葉とそれらのデータを植物園に納める
※直接持参または着払いの郵送可
※台紙未貼付（新聞紙に挟んだ状態で納める）
※貼付作業は、植物園の機能向上ボランティア〔標本・大森文庫チーム〕が行い、ラベルの作成も行う
- ④ 絶滅が危惧される種において、種子や生体の提供など
※情報提供いただき、植物園が判断した上で、収集などを行う

3. 活動期間および活動日、活動時間

第1期（京都植物誌第1版）：令和8年3月1日から令和10年12月31日まで

4. 募集人数

60名程度 ※団体での登録も可

5. 待遇について

賃金、交通費の支給はありません。ボランティア保険については、植物園の負担により加入していただきます。

【ボランティア特典】…ボランティア在籍中は、植物園の入園料が免除されます

ボランティアスキルアップ講座を年1回開催します

6. 公募期間

令和8年1月10日（土）～1月30日（金）まで

7. 応募要件

- ・小学校、中学校などで、主に理科の授業に携わる方
- ・高校などで主に生物の授業に携わる方、および生徒（クラブ活動などを含む）
- ・大学などで、主に植物学や自然科学に携わる方、および学生
- ・植物園、自然史博物館に相当する施設やその職員
- ・植物園、自然史博物館の相当施設で就労経験のある方
- ・府内において、植物の保全活動に携わる団体やその会員
- ・電子メールを問題なく使用でき、電子メールで日常的な連絡が可能であること（団体、もしくは個人）

8. 提出書類

下記のURLまたはQRコードを読み取り、専用フォームへ入り、必要事項を記入の上、提出してください

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1389



9. 養成講座（説明会）について

- ① 日時：2月22日（日） 10：00～16：00
- ② 場所：京都府立植物園2階研修室
- ③ 内容：
 - （ア）京都府立植物園について 副園長 荒堀 正生
 - （イ）京都都植物誌（仮称）について 副主査 津田 桂子
 - （ウ）植物採集について 企画係長 山本 和喜
 - （エ）質疑応答
- ④ 備考：何らかの要因により、受講不可の場合は申し出てください。対応について検討させていただきます。
職員、会員、生徒（学名）など、事業に携わる人員が多数在籍されている場合は、植物園の職員が出向き、養成講座（説明会）を行うことも可能です。

10. 書類の選考について

提出していただいた書類を確認し、公募条件を満たしているか、確認を行います

11. 選考結果発表について

2月5日（木）、メールでお知らせします

12. お問い合わせ先

京都府立植物園 企画係 ◆住所 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
◆電話番号 075（701）0141
◆担当者：山本、岩岡、津田

以上